



第 14 回

テニユアトラック教員支援セミナー

日時：2014年2月19日(水) 18時15分-19時15分

場所：臨床講堂 第1

演者：猪狩勝則 准教授

所属：東京女子医科大学附属

膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

2014
2/19(水)
開催

タイトル：関節リウマチ関連遺伝子解析

要旨：脳東京女子医大附属膠原病リウマチ痛風センターは世界最大級のリウマチ性疾患診療機関である。2000年にほぼすべての関節リウマチ(RA)患者を対象とした大規模前向き観察コホート研究<IORRA>を開始し、現在まで13年にわたり年2回の情報収集を継続している。コホート開始と同時にRA関連遺伝子解析を目的としたDNA収集が計画され、これまでに約2500名からDNAを収集に成功している。これらのDNA試料はIORRAコホートを背景としているため、年齢・性別などの基礎的情報だけでなく、臨床検査値、投薬状況、疾患活動性、合併症など莫大な臨床情報に紐付けされており、多彩な解析が可能となっている。当初は人種差の検討を目的に他の研究チームが報告した疾患関連遺伝子のvalidationを主に行ってきたが、2008年にゲノムワイド関連解析(GWAS)を開始し、2012年には国内の主要なRA研究機関と共同して2万人を超えるGWASメタ解析を実施、さらに2013年には国内外の主な機関と共同し10万人以上を対象とした大規模GWASメタ解析を実施して、100を超す主要なRA感受性遺伝子の同定に成功した。また疾患感受性遺伝子領域内の遺伝子と創薬データベース上のターゲット遺伝子の関連を調査し、治療薬の候補を探索するという新しいゲノム創薬手法を見出し、RA治療における新規治療薬候補を同定した。IORRAゲノムプロジェクトとRA関連遺伝子解析の現状について報告する。

■お問い合わせ

統合医科学研究所 古川 徹(内線29675) furukawa.toru@twmu.ac.jp
総合研究所 竹宮孝子(内線30425) takakot@lab.twmu.ac.jp